

地域福祉に関する懇談会 議事概要

日時：平成29年10月23日（月）14：00～16：00

場所：名古屋市役所正庁 構成員：裏面のとおり

開催の趣旨

- ・地域で活動する主体の代表者が一堂に会する場を設定し、連携・協働、理解促進のきっかけをつくる。
- ・議論の内容を市・社協の各所管課へ周知し、施策の参考とするとともに、次期計画へも必要に応じて反映させる。
- ・区レベルでの具体的な連携・協働につなげる。



進行管理・評価等 報告事項（議題1～3）

社会福祉法人等の多様な団体の参画について

- ・社会福祉法人など本懇談会に参画している様々な団体に、引き続き地域福祉推進の取り組みに参加してもらうことが必要。
- ・名古屋市老人福祉施設協議会から、認知症カフェやサロンの開催場所を提供している老人ホームがあるとの報告があり、続いて、愛知県喫茶飲食生活衛生同業組合から、組合員が地域の施設や団体に出向いて、交流の機会に協力している事例があるとの報告がなされた。
- ・市内社会福祉法人の連携による公益的な取り組みである「なごや・よりどころサポート事業」の寄付の当初目標額が未達成となっていることについて、名古屋市社会福祉協議会から、引き続き力を入れて協力をお願いしていきたいとの説明がなされた。

若者から元気な高齢者までの地域福祉の担い手について

- ・鯉城学園や市内の各大学との連携をさらに進める中で、地域福祉に担い手を呼び込む取り組みを多様化させていくことが必要。

地域福祉に関する懇談（議題4）

地域と専門機関との連携 愛知県精神障がい者福祉協会王子田委員

- ・愛知県障がい者福祉協会、障害者基幹相談支援センター及び障害者地域自立支援協議会の事業内容の説明と実際の支援事例を通じて、以下の課題が報告された。

- 障害者など支援を受ける人が地域とのつながりをほとんど持っていない場合も多く、こうした人に支援を提供するには、まず専門職などの支援者が民生委員児童委員と地域の支援者や関係する地域住民等と日ごろから連携をしながら支援活動をする必要がある。
- 事例を事例で終わらせることなく、地域の課題に広げて取り組む仕組みが必要。
- 障害者自立支援協議会と他の関係会議との横のつながりづくりが必要。

『つながり・支えあおう地域福祉のすゝめ』について（議題6）

- 昨年度に引き続き、主催を市・市社協、共催を「地域福祉に関する懇談会」にて開催予定。

なごやか地域福祉2020の策定について（議題7）

- 策定体制及びスケジュール案の説明。